

血液画像観察を用いた生活習慣指導の可能性

Possibility of the life habit guidance which uses Live Blood Image Study

○鎌田 徹, 吉田 清示, 三箇 龍仁

JMS ビルクリニック

Live Blood image Study has strong power for the object person from strength of the visual impact. We did Live Blood Image Study for patients with Life-Style related Disease to guide there life-style. Life-Style of the patient showed the tendency of improvement clearly, showed the satisfactory improvement result with various entries regarding the blood-collecting result. Our result shows that Live Blood Image Study has potential for the patients to guide there life-style from strength of the visual impact.

【目的】

血液画像観察は、その視覚的インパクトの強さから被験者に対して強い遡及力を持つ。我々は一定の安定度を持って観察可能とした手法をもとに血液画像観察を行い、また、これまでに一定以上の確度を持つと判断された画像解釈を適応した。その結果をもとに当院外来患者に対して生活習慣指導を行い、血液画像観察の持つ患者生活習慣指導の可能性を解析した。

【方法】

当院外来患者のうち、血液画像観察を希望する患者に対して初診時一般採血検査を行い、同時に施行した血液画像観察をもとに生活習慣指導を開始した。一定間隔を置いて一定期間以上同様の指導を行った後に再び一般採血検査を行い、生活習慣指導の成果を確認した。

【結果】

当院外来患者 100 余名に対して一定期間以上血液画像観察を用いた生活習慣指導を行い、指導前後に一般採血検査を行ったところ、GOT,GPT,T-cho,TG と言った生活習慣病関連因子に関して、投薬治療を行わずにそれぞれの検査数値に有意な改善を認めた。

【結論】

血液画像観察を生活習慣指導に用いる事によって、単に一般採血結果の数字だけを伝えるよりも遥かに強く患者に対して生活習慣改善の動機付けを行う事が可能となった。その結果、患者の生活習慣は明確に改善の傾向を示し、採血結果においても様々な項目で良好な改善結果を示した。今後、画像観察において認められる様々な画像変化に対して解析を進める事により、さらに個人個人に適応したきめ細かい生活習慣指導に血液画像観察が有用な手法となる可能性が示された。